

シルクロードの国々へ 初の JICA「早期がんの発見・治療」ウェビナー

東西文明の交流の地として古来より栄えてきたシルクロード地域の国々には、豊かな食文化がありますが、食事などに油脂が多く使われることや体を動かす機会が減ったことにより、以前は少なかった胃がん、大腸がん、すい臓がんなど、消化器の病気が増えています。

一方で、日本の内視鏡による早期がんの発見と治療技術の高さは、ほかの先進国をも圧倒する高いレベルにあります。今般、九州大学病院のご協力により、中央アジア・コーカサス地域の国々(※)を対象とした初のJICAの研修「早期胃癌の内視鏡診断と治療」を、ウェビナー形式で実施します。

※中央アジア・コーカサス地域の国々：ウズベキスタン、キルギス、カザフスタン、タジキスタン、トルクメニスタン、ジョージア、アルメニア、アゼルバイジャンの8カ国

【JICA広報誌にて、中央アジア・コーカサス地域を特集中】

<https://www.jica.go.jp/publication/mundi/ku57pq00002kfsx7-att/202102.pdf>



キルギス：草原の人々

ウェビナーの概要は以下のとおりです。

ウェビナー出席および個別取材をご希望の場合は、以下の問い合わせ先へ2月22日(月)17:00までにご連絡ください。

**中央アジア・コーカサス 8 カ国向け
「早期胃癌の内視鏡診断と治療」ウェビナー**

【日時】2021年2月25日(木)15:00～17:00

【方法】Zoomを用いたオンライン対応(リンク先情報は別途提供)

【主催】九州大学病院 国際医療部

(国際協力機構(JICA)の研修として対応)

【言語】日本語およびロシア語(日露逐次通訳あり)

【プログラム(予定)】

- 1)各国における胃癌内視鏡診断・治療の実情(各国参加者より発表)
- 2)日本の内視鏡診断・治療の実際(九州大学病院より講義)
講師 九州大学病院 国際医療部 森山智彦
- 3)質疑応答・補足説明

【ウェビナー参加者及び JICA への取材対象日】

2021年3月第一週 *お申し込みの方に、後日ご連絡いたします。

方法:Zoomを用いたオンライン対応

言語:日本語およびロシア語(日露逐次通訳あり)

*詳細日程は、ご連絡頂いた上で、JICAにて調整いたします。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東・中央アジア部中央アジア・コーカサス課 浅岡

TEL 03-5226-6692 e-mail:Asaoka.Makiko@jica.go.jp